

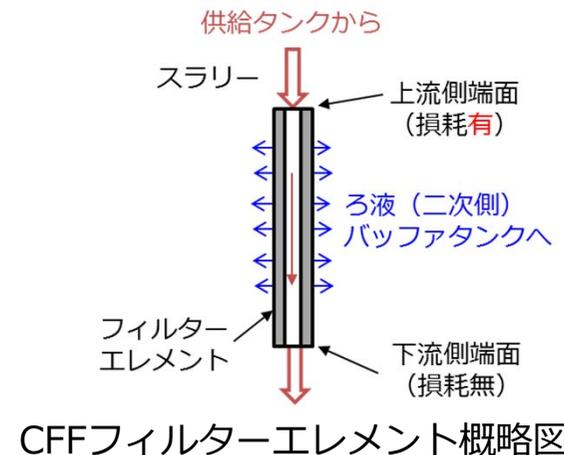
- 10/27に点検を行っていた増設多核種除去設備(以下、増設ALPS)(B)の運転再開にあわせ、バッファタンク出口の水を採取したところ若干の白濁を確認、さらにクロスフローフィルタ(以下、CFF)ドレンラインにおいて濃い白濁を確認したことから増設ALPS(B)を停止しました。なお10/27にバッファタンク出口から採取した水のカルシウム濃度は4ppmであり、ALPS出口処理水への核種除去性能への影響はないものと考えています。
[<2020年11月4日 お知らせ済み>](#)
- その後の原因調査において、サンプルタンクで一時貯留している水のカルシウム濃度が1ppm未満であること、炭酸塩スラリーが透過した場合に影響するストロンチウム90の濃度はND(<0.0909ベクレル/ℓ)(告示濃度比:0.003)と低いことを確認しています。
[<2020年11月16日 お知らせ済み>](#)
- その後実施している増設ALPS(B)のCFF開放点検(CFF2B, CFF3B)において、フィルターエレメントの一部(上流側端面)に損耗のあることを確認しました。通常、スラリーはフィルターエレメントを透過することで、二次側にはろ液のみ流出する仕組みですが、上流側端面(入口部)のフィルターエレメントが損耗したことで、当該部より一部のスラリーが二次側へ流出したと想定しています。
- 今後フィルターエレメントの交換を行うと共に、フィルターエレメントが損耗した原因について引き続き調査を実施していきます。



CFF2B上流側 (損耗あり)



CFF3B上流側 (損耗あり)



CFFフィルターエレメント概略図

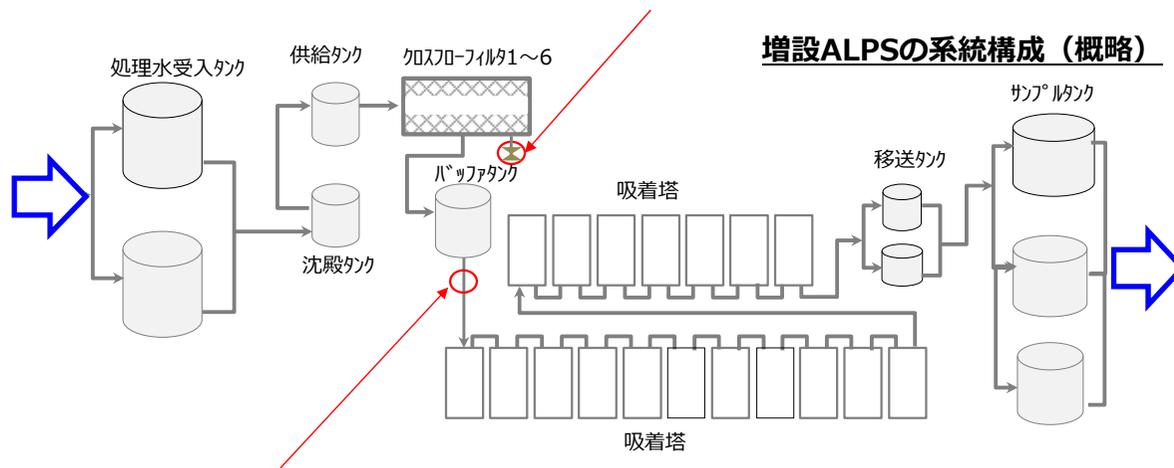
<参考> 系統概略図および増設ALPS各CFFドレンライン水のカルシウム濃度測定結果

各CFF二次側ドレン水のCaイオン濃度測定結果

	CFF1	CFF2	CFF3	CFF4	CFF5	CFF6
A系(11/12)	11.3 ppm	2.2 ppm	34 ppm	2.7 ppm	2.8 ppm	173 ppm
B系(10/29)	3.6 ppm	250 ppm	260 ppm	72 ppm	1.6 ppm	7.7 ppm
C系(11/12)	2.1 ppm	2.3 ppm	2.5 ppm	5.2 ppm	1.7 ppm	1.3 ppm

対象箇所

点検に伴う採水箇所（CFF二次側(ろ過側) ドレンライン）



通常運転時採水箇所（バッファタンク出口）

※運転中1回/1日採取 ⇒概ね 1 ~ 2 ppm

増設ALPSの系統構成（概略）

